

# 八王子市青少年健全育成基本方針

## 家庭・学校・地域の連携のもと 健全な八王子っ子を育てよう



次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長し、自立した心豊かな社会人になることは、市民すべての願いです。本市の青少年健全育成の目指すところは、青少年が豊かな人間性や、判断力、健全な心と体を獲得し、自ら力強く生きるとともに、社会を形成する力をつけていくことにあります。そのためには、基礎となる家庭での教育の充実と、それを支える社会環境の整備が必要です。また、八王子に暮らす大人一人ひとりが青少年を育成する担い手であることを自覚する必要があります。

八王子市では、青少年を取り巻く現状を踏まえ、家庭・学校・地域、そして市及び関係機関のそれぞれの目標を掲げました。これらの目標に向かって協力して取り組むことで、未来を切り拓く強さをもった、健全な八王子っ子を育成していきます。

### 家庭での取組

- ◆ しっかりとした絆のある家族
- ◆ 身近な地域を知る、つながる

### 基本はしっかりとした家庭づくり

- ◆ あいさつと役割は家庭の基本

### 学校での取組

- ◆ さらなる学校の公開と地域における教育資源の活用をすすめる
- ◆ 自立する基礎や、生命尊重・規範意識の心を育てる教育の充実
- ◆ 個性や適性を見つける学習や体験活動を実施

### 地域と連携をとり、より開かれた学校づくり

### 地域での取組

- ◆ 地域で声をかけ合おう
- ◆ 健全な明るいまちをつくろう

### 子どもの成長は地域でつちかう

- ◆ 地域で青少年が活躍・交流・体験できる場をつくろう

### 市及び関係行政機関の取組

- ◆ 家庭・学校・地域・関係機関の連携の強化
- ◆ 人材育成と情報提供

### 連携とサポート体制の充実

- ◆ 青少年健全育成活動の支援

### 平成 26 年度 八王子市青少年健全育成推進区域

八王子市青少年健全育成推進区域は、全市の青少年健全育成のモデル地区です。平成 26 年度は浅川地区に決定しました。推進区域では、「あいさつ運動」や「子どもの意見発表会」などを実施し、地域住民への健全育成の啓発等を積極的に進めていきます。

調査・審議 八王子市青少年問題協議会  
発行 八王子市  
事務局 八王子市子ども家庭部児童青少年課  
(Tel 042-620-7435 Fax 042-627-7776)

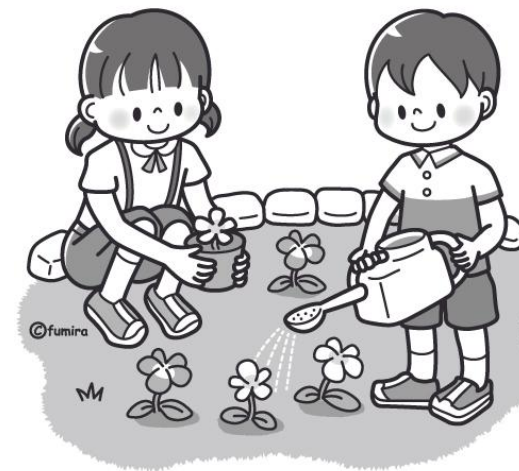
## みんなでつないでいこう 思いやりの心



大人たちの気づかないところで多くの子どもたちが「いじめ」の被害にあい、悩み苦しんでいます。相手の気持ちを理解できずに「いじめ」を行なっている子どもたちもいます。深刻さを増しているのは、ネット上で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする「ネットいじめ」です。不安で勉強も手につかず、ご飯も食べられない、夜も眠れない状況まで追い詰められてしまう子どもたちもいます。いじめが急速にエスカレートし、自殺や殺傷事件など痛ましい事件も起こっています。

携帯電話やインターネットなどの発展に伴い、世の中は便利で効率的になりました。一方で、メールなどの相手の表情や声色もわからない文字のみによるコミュニケーションは、自分本位の思い込みによる誤解を生みやすく、また、乱暴で相手を傷つける言葉となる危険性もあります。そのため、これらのやりとりによって人間関係にとまどい疲れてしまう子どもも多くいます。

こうした時代に、子どもたちが人と関わりあう楽しさや人と一緒に何かをやる素晴らしさを感じていきいきと成長していくために、私たち大人が伝えられる大切なことは、日本で長い年月をかけて育まれてきた“思いやりの心”ではないでしょうか。



## 思いやりの心を子どもたちへ

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、多くの人々が家や家族を失いました。その悲しみの中、被災者同士が限られた物資を分け合い、お互いを思いやり助け合う姿に海外から多くの驚きと称賛の聲が上がりました。また、相手の立場や気持ちを大事にする思いやりの心は、生活の恵みにも脅威にもなる自然の中で、まわりの人と支え合い生きてきた私たちの生活に確かに根付いている価値観であることに改めて気付かされた人も多かったことでしょう。

思いやりの心は人と心を通わせ、つながりを育む中で養われていきます。そして、それは日々の生活の中で、親や地域の大人たちから子どもたちへ世代を越えて伝えていくべき大切なことです。どんな時代であっても誰もが幸せに生きるための知恵として伝えられてきた“思いやりの心”の大切さを家庭・学校・地域が一体となって子どもたちへつないでいきましょう。



# 1. 話してみよう、聞いてみよう

## ○会話する時間を作りましょう○



最近、お子さんと話をしていますか。顔を合わせて話すことは、時間を一緒に楽しみ、お互いの気持ちを理解し合える一番のコミュニケーションです。子どもたちはたくさん話し、声を掛け合うことで人の気持ちをより理解できるようになります。家庭は子どもたちがコミュニケーションを学べる最も大切な場所です。家族との会話の中で笑い合い、時にぶつかり合うなかで、子どもたちは声や表情、様子から相手の気持ちを感じとり理解し、思いやりの心を育むことができます。

忙しい毎日、ゆっくり話すことは難しいことかもしれませんが、食事時やお子さんの帰宅時など、短い時間でも声をかけ、どんなことでもお子さんが発する言葉に耳を傾け、一緒に話してみましよう。

## ○子どもたちに皆さんの経験談を○

誰しも友達とのやりとりで深く傷つくこともあります。また、頑張ってもうまくいかないことや失敗することもあります。こうしたとき、子どもたちを大切に思う気持ちや、ご自身の経験を言葉で伝えてあげてください。子どもたちは、家族や地域の人たちの経験談を聞くうちに、誰もが同じような経験や失敗を重ねて大人になっていることに気付くでしょう。その気付きが、自ら一步を踏み出して相手に関わっていかうとする勇気と行動力につながっていきます。子どもたちの背中を後押しする励ましとして、皆さんの経験談を話してあげてください。

### ここから始めてみよう!



- ☆ 自分からあいさつしよう!
- ☆ 今日のできごとを家族に話してみよう!
- ☆ 周りの大人の経験話を聞いてみよう!
- ☆ 悩んでいる友達に声をかけよう!
- ☆ 一人で悩まず相談してみよう!

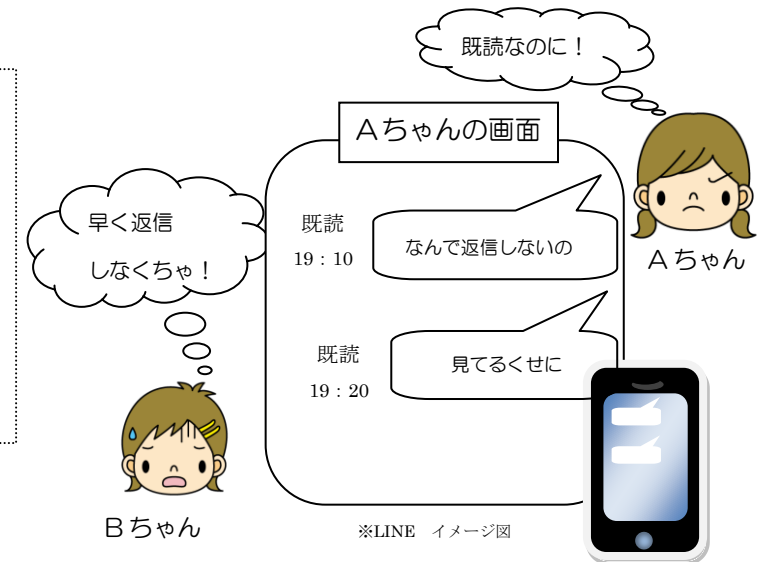


# 2. 家族で話そう 携帯・スマホ・ネットの使い方

携帯電話やスマートフォンは、便利な情報収集や気軽な友達との連絡手段として、子どもたちの生活において急速に身近なものとなっています。それに伴いネット上のトラブルに子どもたちが巻き込まれる事件も後を絶ちません。ネット上での誹謗中傷やなりすましに加えて、特に最近ではLINE (ライン) などのアプリの利用によるトラブルが深刻化しています。

## LINE (ライン) とは…

通話やメールが無料で楽しめるアプリ。複数の人と同時にやり取りを行うことや、メッセージを相手が読むと「既読」と表示される便利な機能もあります。しかし、使い方によっては「既読なのに返信が来ない」などの理由で仲間外れにするいじめや、やりとりをやめられない「ネット依存」といった問題も生じています。



## ○親子で一緒に考えよう○

相手の顔が見えないネット上では、お互い言葉足らずによる思い違いや、自分本位な考え方に陥りやすく、これらが友達との間でトラブルを引き起こすことも少なくありません。こうした時、ネットやアプリの機能がわからなくても、大人には一緒に考え教えてあげられることがたくさんあります。携帯電話やスマートフォンを使う際の思いやりについて、まずは親子で一緒に話し合い考え、使用上のルールづくりなどをしていくことが大切です。

### ちょっと立ち止まって考えてみよう!

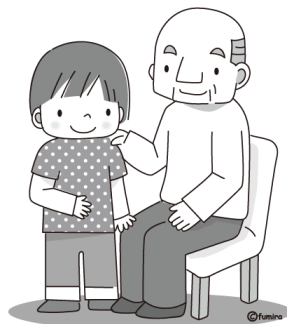


- チェック
- 知らず知らずのうちに、携帯電話を手放せなくなっていますか?
  - その不安、一人で考えすぎて大きいものにしていませんか?
  - 相手の状況や気持ちを思いやることができますか?

文字のみのやり取りで、気持ちを伝えることはなかなか難しいものです。もし、直接友達と顔を合わせて話していたらどうするか、一歩立ち止まって考えてみましょう。

# 3. 相手の目を見て言う「ありがとう」「ごめんなさい」の大切さを大人から子どもへ伝えていこう

相手の目を見て「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えること。それは、相手への思いやりの心を育むうえでとても大切なことです。誰しも笑顔向けられ「ありがとう」と言われた時や真剣なまなざしで「ごめんなさい」と言われた時に、温かな気持ちになった経験があるかと思います。「ありがとう」は相手に感謝の気持ちを伝えるとともに、自分にも幸せを呼ぶ言葉であり、「ごめんなさい」は素直に深く改めるべきことを認め、そこから惜しまず努力しようとする謙虚な気持ちの出発点となる言葉です。相手の目を見て言う「ありがとう」、「ごめんなさい」の一言は、言葉だけでは伝えきれない誠実な気持ちをしっかりと相手の心に届けてくれます。



感謝の気持ちや反省の気持ちを相手の目を見て伝えることは、大人でも気恥ずかしく、なかなかできないこともあります。しかし、子どもたちは親や大人の姿を見て育ちます。まず、私たち大人が子どもたちに手本を示し、思いやりの心を地域全体に、また、次の世代へ伝えていきましょう。

子どもたちは「ありがとう」、「ごめんなさい」による心の通い合いを重ねるたびに、人と関わることの楽しさや人を思いやることの心地よさを得ていくことでしょう。そして、意欲や自信を持って自ら様々な人とのつながりを育み、世界を広げていくことでしょう。

